

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名	佐賀県立彩志学舎中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導においては、熊本県立ゆうあい中学校との合同研修会や、九州の夜間中学からの視察訪問時に、各教科担当の情報交換を行い、一人一人の学びの状況に応じた学習指導の充実に努めた。また、今年度から高校進学を希望する生徒のためのコースを新たに設けた。さらに、校内模試の実施や県校長会統一テスト(SAGAテスト)への参加し、高校受験に臨む生徒への学習支援を充実させた。 心の教育においては、今年度から、スクールカウンセラーによる全校生徒との面談及びスクールカウンセラーによるいのちの授業(年3回)を実施し、生徒が相談しやすい環境づくりを行った。また、生徒指導及び教育相談担当が連携し、「SOSの出し方」について学ぶ機会を設けた。 発達障害のある生徒の理解と対応に関する職員研修を実施した。特別支援教育に関する職員研修の機会を増やし、生徒が安心して学ぶことができる教育環境の充実に努めた。
2 学校教育目標	一人一人の個性や多様な価値観を尊重し、それぞれの目標に向かって進む生徒を応援する学校
3 本年度の重点目標	①生徒の想いに応える授業や体験活動の充実に努める。 ②多様性の尊重と個々のニーズや事情への柔軟な対応を図る。 ③誰もが安心して学ぶことができる教育環境の整備を図る。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒一人一人の学び直しに応じた学習指導の実施に向け、指導方法の在り方に関する研究の推進	○生徒一人一人の学び直しに応じた学習指導の実施に向けた指導方法の改善に取り組んだ職員の割合90%以上	・他県の夜間中学訪問や研修会における実践事例等について校内での研修及び情報共有の機会を設ける。 ・生徒一人一人の学習履歴や習熟状況を踏まえ、個に応じた学習指導を実施する。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○楽しい学校づくりに向けたアンケートを実施する。「誰に対しても優しくできる」と回答した生徒70%以上	・生徒の年齢や国籍等、多様な背景に配慮した道徳の授業を計画する。 ・楽しい学校づくりに向けたアンケートを年2回以上実施する。							道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの対応についての研修・会議を実施する。 ・いじめアンケートを年2回以上実施する。							生徒指導主事
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒85%以上	・複数対応による授業支援、きめ細やかな指導を実施する。 ・授業だけでなく、教育活動全体で生徒指導の機能を生かした取組を実践する。							進路指導主事
	○異なる文化や多様な価値観を理解し、互いを認め、尊重する態度を養う教育活動	○学校教育活動全体を通して、個性や多様性を尊重することの大切さなど豊かな心を身に付けられるための取組を年3回以上実施する。	・学校行事や校外学習の実施等を通して、生徒が自己を表現する場や他者と交流・協力を図る場を設定する。							管理職
●健康・体づくり	⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」	⑤「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒80%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施する。 ・保健教育や学級活動の時間を通して、感染症予防や歯科保健の大切さ、自他を思いやる気持ちを育むため学習する機会を設ける。							保健主事・養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日(毎週水曜日)、学校閉庁日(11日間)を設定する。 ・年次休暇の積極的取得を推奨し、教職員の心身の健康増進に努める。 ・会議時間の短縮及び資料のペーパーレス化に努める。							管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する職員の意識の向上	○特別支援教育に関する研修を1回以上実施する。	・専門家による特別支援教育に関する研修会を実施する。							特別支援教育コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○日本語指導研修の充実	◎日本語指導を必要とする生徒への計画的・効果的な指導方法の改善に向けた研修の実施	○日本語指導に関する指導方法の工夫・改善が図れた職員の割合を80%以上	・外部の専門講師を招聘し、職員研修を実施する。 ・職員研修を年2回以上実施し、職員の資質・能力の向上を図る。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------